

しゃもと さくらこ
社本 桜子 (Paula)
プリミアスクール5期生

同窓生

こんにちは。卒業生の社本桜子です。現在は上智大学の英語学科に所属し、市民社会国際協力論を専攻しながら勉強に励んでいます。

明泉では英語を学べたのはもちろんのこと、英語を学ぶ楽しさも同時に知ることができました。多様なバックグラウンドを持つ先生

方から英語を教わり、毎日新しい発見があり、とても楽しかったことを覚えていています。

特に印象に残っているのは、小学4年生のときに参加したシアトル研修旅行です。初めて現地の学校に通いながらホームステイを経験し、とても貴重な体験をすることができました。

私は今年2月に、「国連の役割と機関」をテーマとしたニューヨークでの研修に参加しました。高校時代に参加したプログラムを通して、黒人女性の妊産婦死亡率の高さを知り、国際社会における不平等に強い関心を抱くようになりました。そして、国際問題についてさらに深く学びたいと思うようになりました。

この研修への参加を決意したのは、国連がジェンダーや貧困の課題をどのように政策化し、支援へとつなげているのかを現場で学び、将来国際機関で働くために必要な知識と具体的な視野を得たいと考えたからです。

1週間の研修では、UN Women、NHK ニューヨーク支局、UNDP、UNICEF、The New York Times、国際連合日本政府代表部など、さまざまな機関の方々から貴重なお話を伺いました。

今回の国連集中研修を通して、国連は単に国際問題を解決する組織ではなく、多様な立場の人々をつなぎ、対話と協力の場を維持する重要な存在であることを学びました。特に印象に残ったのは、UNFPAやUNDPの活動を通して、「人間の安全保障」や「人の尊厳」を重視する考え方に触れたことです。

人口問題や貧困、気候変動、紛争といった課題は複雑に絡み合っており、一つの国だけでは解決できないことを実感しました。また、国連だけでなく、NGOや市民社会、そして若者の声も国際社会において大きな役割を果たしていることを学びました。私自身も、正しい知識を身につけ、国際問題に関心を持ちながら行動していくことの大切さを強く感じました。

現在明泉に通っている皆さんには、今ある環境を大切にしながら、学園生活を存分に楽しんでほしいと思います。そして、卒業後もそれぞれの道で活躍されることを心より願っています。頑張ってください。



国連総会会場

もっと
知って
みよう!

社本さんが研修に訪れた さまざまな機関

って、どんなところ?

国連 (国際連合)

1945年に設立された、世界平和の維持、人権の保護、経済・社会の発展などを目的とする世界最大の国際機関です。現在、193の国と地域が加盟しており、本部はアメリカ・ニューヨークに置かれています。

UNDP (国連開発計画)

貧困の撲滅、民主的な統治の促進、不平等の是正、持続可能な開発の実現を目的として活動する国連の主要な開発支援機関です。世界170以上の国と地域で、より良い社会づくりに向けた支援を行っています。

The New York Times

1851年に創刊されたアメリカ・ニューヨーク市に拠点を置く米国の日刊紙。

UN Women (国連女性機関)

女性や女兒に対する差別的撤廃と人権の保護を目的に、国際的なルールづくりや各国政府への政策支援、人道支援を行う国連機関です。また、国連全体のジェンダー平等に関する取り組みが円滑に進むよう、調整役としての役割も担っています。さらに、途上国や紛争地域では、厳しい環境下で暮らす女性や少女に対して、直接的な人道支援を実施しています。

UNICEF (国連児童基金)

世界約190の国と地域で、すべての子どもの命と権利を守るために活動している国連機関です。感染症予防のためのワクチン提供や医療支援、衛生環境の改善、教育機会の提供、さらには暴力や虐待、紛争や災害から子どもたちを守るための支援など、幅広い活動を行っています。

Bible verse

信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。

ヘブル人への手紙 11章6節

聖書 せいしよ

私たちの心を守る聖書の教え

5 信仰—神様への信頼

このシリーズでは、私たちの心を守ってくれる聖書の教えについて考えています。今回は、「信仰」にスポットを当てて考えてみたいと思います。



園長 ダニエル・ファンガー

不安や恐れの中で心を支えるもの

私たちは誰でも、将来への不安や失敗への恐れ、人間関係の悩み、病気や死への心配を抱えながら生きています。そのような中で、聖書は「信仰」すなわち**神様への信頼**が人の心を支え、希望と平安を与えると教えています。

聖書における信仰の定義

聖書は信仰について次のように語っています。

信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。
——ヘブル人への手紙 11:1

信仰とは、まだ目には見えなくても、神様の約束が確かであると信頼することです。たとえば、私たちは飛行機に乗るとき、その飛行機が安全に目的地まで運んでくれると信じて乗り込みます。自分で飛行機の仕組みをすべて理解しているわけではありませんが、信頼して身を委ねます。聖書の信仰もそれに似ています。神様の存在や約束を頭で理解するだけではなく、「神様は真実なお方だから大丈夫だ」と信頼して自分自身を委ねることです。

信仰の出発点は、私たち人間が自分の力では解決できない2つの問題、すなわち「罪」と「死」について神様を信頼することです。神様はイエス様の十字架の贖いの死を通して私たちの罪を清め、イエス様の復活を通して私たちにも同じ復活の希望と永遠の命の約束を与えてくださいました。

こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。
——ローマ人への手紙 5章1節

自分の弱さや罪を認め、イエス様により頼むことこそ、信仰の第一歩です。

信仰の具体的な姿

では、信仰は実際の生活の中でどのように表れるのでしょうか。

第1に、神様に祈ることです。困難や悩みがあるとき、自分の力だけで解決しようとするのではなく、神様に助けを求めます。祈りは単なる願い事ではなく、「神様が最善をしてくださる」と信頼する行為です。たとえば、次のように祈ることができます。「神様、私は今とても悩んでいます。自分にはどうしてよいかわかりません。どうか導いてください。あなたが最善をしてくださると信じます。」

このように、正直な気持ちを神様に打ち明け、信頼してゆだねることが祈りなのです。

第2に、神様の言葉に従うことです。聖書には、人を赦しなさい、愛しなさい、正直でありなさいと教えられています。時にはそれが難しく感じることもあります。しかし、「神様の道が最善だ」と信じて従おうとすることが信仰の姿です。神様の言葉に従うなら、必ず神様の助けと祝福があなたの人生にあるでしょう。

第3に、苦しい時にも希望を失わないことです。聖書に登場するアブラハムは、神様から「子孫が大いに増える」という約束を受けました。高齢になっても彼は子どもをもうけられませんでした。それでもなお、神様の約束は必ず実現すると信じ続けました。ノアは洪水を見たことがなかった時代に箱舟を造りました。彼らは目に見えない状況ではなく、神様の言葉を信頼したのです。信仰とは、すべてが順調な時だけ神様を信じることではありません。むしろ、先が見えない時にも神様を信頼し続けることなのです。

信仰はどのように心を守るのか

現代社会では、多くの人が不安や恐れを抱えています。「将来はどうなるのだろう。」「失敗したらどうしよう。」

「病気になったらどうしよう。」「大切な人を失ってしまったら。」こうした心配は誰にでもあります。しかし、信仰は私たちの心に大きな支えを与えます。なぜなら、信仰は「自分一人で人生を背負わなくてもよい」と教えるからです。神様は私たちを愛し、見守り、導いてくださるお方です。人生で直面することのすべてを理解できなくても、「神様は私のことを知っておられ、最善へと導いてくださる」と信じることで、心に平安が生まれます。イエス様はこう言われました。

明日のことまで心配しなくてよいのです。
——マタイの福音書 6:34

信仰は問題そのものを消してしまう魔法ではありませんが、問題の中でも心が押しつぶされないように支えてくれます。

嵐の中の船は揺れますが、しっかりとした**錨**があれば流されません。同じように、人生の嵐の中で神様への信頼という錨があるとき、私たちの心は守られるのです。

おわりに

聖書の信仰とは、神様の存在を認めるだけでなく、神様の愛と約束を信頼し、自分の人生を委ねることです。そして、その信仰は祈りや従順、希望という形で日々の生活に表れます。人生には不安や恐れがつきものです。しかし、信仰によって「神様が共にいてくださる」という確信を持つとき、私たちは困難の中でも希望を失わず、平安をもって歩むことができます。信仰とは、暗闇の中で未来をすべて見通すことではありません。たとえ先が見えなくても、神様を信頼して歩み続けることなのです。そして、その信頼こそが私たちの心を守り、前へ進む力を与えてくれるのです。天地万物の造り主、全知全能の神様への信仰や信頼から来る喜びと平安を皆様の上にお祈りしています。

フレンズ Friends Summer 2026

「読む」とつながる。「読む」とひろがる。

MeySen
Newsletter
No. 215



60th
MeySen
Anniversary

フレンズ
Friends

「読む」とつながる。「読む」とひろがる。

発行日: 2026年7月1日

発行: 宮城明泉学園 www.meysen.ac.jp

Friends Newsletterは年に4回、カンガルークラブからハイスクール、同窓生などに関するニュースをお届けする学園ニュースレターで、明泉サイトでも公開しています。



本紙で引用している聖書は、以下の聖書によります。聖書 新改訳 © 新日本聖書刊行会

Have a BLAST this summer at MeySen!

待ちに待った
夏休みの始まりです!

友達とお泊まり、キャンプファイヤー、
花火、サマークラブにサマースクール!
ワクワクするイベントがいっぱいの夏。
今年もたくさん遊んで、たくさん学んで、
忘れられない思い出をつくりましょう!



家族みんなが楽しむ、明泉の伝統行事 フレンズデー

5月31日(日)に高森キャンパス、6月7日(日)に丸山キャンパスで
開催された「フレンズデー」。今年もたくさんの笑顔に包まれ、大いに盛
り上がりました。

皆さんは、フレンズデーの歴史をご存じでしょうか。

フレンズデーは、フレンドクラブ開設後まもなく、授業参観を目的とし
て始まった行事です。当時は、体重1,000kgを超えるジャンボ馬や、世
界最小級のアメリカ産ミニホース、馬車が登場し、子どもたちを楽しませ
ていました。大きな馬を見て「ソウみたい!」と驚く子どもたちの姿や、二
人乗りで馬の背中に乗る体験は、当時の人気プログラムでした。

また、保護者サークルのお母さん方による人形劇やコースも恒例とな
り、多くの家族が感動し、大きな拍手に包まれていました。

当初のフレンズデーでは、各家庭がお弁当を持参していました。しかし
1990年代になると、「日曜日くらいはお母さんの負担を少しでも軽減した
い」という思いから、園で食事を提供するスタイルへと変化していきまし
た。あわせて雰囲気もウェスタンスタイルへ一新。ホットドッグをはじめ、
アメリカ文化にちなんだスイーツやお菓子が並び、先生たちもコスチューム
を身にまとい、現在のフレンズデーの原型が形作られました。

さらに、明泉学園40周年を機に、オリジナルグッズの販売や保護者
サークルによるブース出店、子どもたちに大人気のロデオマシンな
ども加わり、行事はますます充実していききました。

現在では、明泉同窓会の皆さんをはじめ、多くの卒業生やLIT
(Leaders in Training)の生徒たちがボランティアとして運営を支え



てくれています。また、50周年以降、地域との連携や社会貢献活動を積
極的に進めてきた明泉では、今年、仙台泉ローターアクトクラブの皆様にも
フード販売にご協力いただきました。さらに、その収益の一部をご寄付
いただくなど、地域とのつながりの輪も広がっています。

フレンズデーは、単なる「授業参観」ではありません。子どもたちはも
ちろん、お父さんやお母さん、ご家族みんなが楽しみにしている、明泉
ならではの特別な行事です。

これからも、子どもたちの成長を見守りながら、家族や先生、卒業生、
地域の皆様と一緒に楽しめる行事として、大切に受け継いでいきたいと
思います。



ボランティアの皆さんが
大活躍!



仙台泉ローターアクトクラブの
活動についてはこちら



羊さん、 夏支度です!

呼んだ?



今年は春があっという間に過ぎ去り、「もう夏が来たのかな?」と思うほ
ど暑い日が続きました。皆さんも春を短く感じたのではないのでしょうか。
そんなある日、園の羊たちを見ると、まだ立派な毛皮をまとったまま。
子どもたちからも「暑そう!」「暑い暑い!」という声が聞こえてきました。
そこで今年も恒例の「羊の毛刈り」を行いました。

「いわねまひつじ村」の飼育員さんが羊を優しく抱きかかえ、くると仰
向けにすると、バリカンで丁寧に、そして手際よく毛を刈っていきます。「痛くないの?」「くす
ぐつくないのかな?」と心配そうに見守る子どもたち。しかし、毛が刈られていくにつれて羊
たちはどんどんすっきりした姿になり、なんだか気持ちよさそうです。

では、なぜ羊の毛刈りをするのでしょうか。

実は、羊たちが健康に過ごすために欠かせない大切なお世話なのです。毛が伸びすぎると、
夏場に体温調節が難しくなり、熱中症になる危険があります。また、毛に汚れや湿気がたまる
ことで細菌が繁殖し、皮膚病や寄生虫の原因になることもあります。

刈り取られた羊毛は、きれいに洗われた後、セーターや毛布などのウール製品として生まれ
変わります。私たちが寒い冬を暖かく過ごせるのも、羊たちの恵みがあるからです。

羊たちが元気に夏を過ごせるように。そして、私たちの暮らしを支えてくれていることに感謝
しながら、「ありがとう」の気持ちを伝えたいですね。



羊毛がどっさり!
重さはどのくらい
あるんだろう?

毛がない羊は
どんな触り心地かな?



ただいま、明泉。

明泉同窓会 2026



今年も5月3日、高森キャンパスにて明泉同窓会が開催されまし
た。当日は600名を超える同窓生が集まり、会場は笑顔と活気にあ
ふれていました。

懐かしい先生方との再会や、「何十年ぶりだろう!」と旧友との再会
を喜ぶ声があらこちらで聞かれました。また、運営を支える同窓生
たちも、受付や準備に携わりながら再会のひとときを楽しみ、世代
を超えた温かな交流の輪が広がっていました。

会場には、明泉名物ともいえるハンバーガーやホットドッグ、
ウィンナーロースト、アイスクリーム、チップスなどが並び、
同窓生たちは懐かしい味を楽しみながら近況を語り合い、
思い出話に花を咲かせていました。久しぶりの再会に
笑顔が絶えず、新たなつながりも生まれる特別な時
間となりました。

そして、同窓会の中でも多くの同窓生が楽しみ

みんなでチャレンジ! サッカー & チアダンス!

今年も5月に、ベガルタ仙台のサッカースクールコーチの皆さま、そしてチアダン
スリーダーズの皆さまをお迎えし、両キャンパスにて「幼稚園キッズサッカーキャ
パン・チアダンス教室」を開催していただきました。

当日はお天気にも恵まれ、年長・K5の子どもたちは、元気いっぱいにサッカー
やチアダンスを楽しみました。元ベガルタ仙台選手であり、現在はクラブコミュニ
ケーターとして活躍されている 富田晋伍さんによる迫力あるシュートや、チアリー
ダーズの皆さんによる笑顔あふれる素敵なパフォーマンスを目の前で見ることがで
き、子どもたちも大興奮です!

サッカー教室では、コーチの皆さんにドリブルやシュートのコツを教えていただ
くと、みるみる上達していく園児の姿も見られました。チアダンス教室では、「もっと
躍りたい!」とお姉さんたちに話しかける微笑ましい場面もあり、楽しい時間を過
ごすことができました!

子どもたちにとって、「実際に体験すること」は大きな学びにつながります。自分
で挑戦してみることで、楽しさだけでなく、難しさや達成感も感じることができま
す。明泉学園では、これからも子どもたちの「やってみたい!」という気持ちを大切に
しながら、さまざまな体験ができる機会を作ってまいります!

ベガルタ仙台 サッカー・チアスクール
<https://www.vegalta.co.jp/contents/school/>



幼稚園を卒業した方、フレンドクラブを途中退会した方も
同窓会の活動にご参加いただけます!

